下都實地区生涯学習研究会機関派





平成29年12月 行 下都賀地区生涯学習研究会

発 行 下都賀地区生涯学習研究会 事務局 下都賀教育事務所ふれあい学習課内

> TEL 0282-23-3422 FAX 0282-23-3502

E-mail

shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

クネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークナッ

本年も押し詰まり、師走となりました。社会教育主事有資格者の皆様におかれましては、文字通りあっちへ走り、こっちに走りと、日々お忙しくご活躍のことと思います。

今号も、会員の皆さまから、貴重な事例や情報をお寄せいただきました。また、廣瀬先生から、下都賀地区の社会教育主事有資格者の皆さまへのメッセージを頂戴することができました。ご多用な年末だからこそ、少し心を落ち着かせて本号をお読みいただき、社会教育主事講習を受講された当時や社会教育主事有資格者である自分の1年間をふりかえってみてください。

社会教育主事有資格者へ

夏の講習ご苦労様でした。狭い部屋で連日パワーポイントを見せられ、何が大切なことなのかわからないままに講習を終えてしまいませんでしたか。講習を終えて、職場の隣席にすわる職員に「お疲れ様ところで社会教育って何ですか」と聞かれたら、きちんと自分の言葉で語れるようになりましたか。まさか社会教育法の定義を教えたりはしないですよね。あれだけ何日も講義をひたすら聞き続け、社会教育という言葉すら説明できないということはないとは思いますが、講習の時のノートをもう一度開いて、丁寧に社会教育という言葉をだれにでもわかりやすく説明してあげてください。中学一年生にでもわかるような言葉で、社会教育とは何かを説明するのです。なんだかいろいろな話を聴いたけれど何も残っていないという言葉はしばしば聞きますが、たった一つでよいのです。社会教育という言葉を自分がすとんと落ちるように説明してください。あなたが講習を終えたのかどうか、それではっきりします。

実は社会教育は様々な側面を持つ言葉です。生涯学習のように単純ではありません。一言では実は説明できないものなのです。いろいろな性格を持っていますが、あくまで教育活動を説明することになります。少しは長くなっても構いませんので、自分の言葉に変換してまとめてみてください。

シリーズ「事例から学ぶ 53」

魅力ある学校作り事業 放課後活動「網戸っ子わくわく夢教室」

小山市立網戸小学校 教諭 櫻木 万弓 小山市の小規模特認校(小山市では2校)に指定されている網戸小学校では、学校・地域・教育委員会が連携して、地域に根ざした特色ある体験活動を放課後に行う事業「網戸っ子わくわく夢教室」を実施しています。月曜日の放課後(実際には帰りの会終了後、6校時)、年間15回行い、原則として全児童参加しています。内容は、「相撲」「本の読み聞かせ」「おはやし」「手話」「ニュースポーツ」「正月飾り作り」「藍染め」「野鳥観察」等、外部講師を招いて様々な活動を行います。子どもた

ちは学校での授業等では体験できないことを体験でき、特に、網戸の地元の伝統である「おはやし」、結城紬に関わる「藍染め」、渡良瀬遊水地に関わる「野鳥観察」等は、その道の専門家とふれ合うことができ、地域の特色を知ることができる、本校ならではの活動となっています。子どもたちは夢教室の時間を毎回楽しみにしており、「おはやし」の活動では、毎年来校されている地域の方に、大いに盛り上げていただき、楽しい時間を過ごしていました。



【盛り上がりをみせる「おはやし」】

ー ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク



リレー「となりの社教全事 40」

「人との出会い 人とのつながり」

下野市教育委員会事務局生涯学習文化課 副主幹兼社会教育主事 塩濱 弘子

平成 26 年の夏、社会教育主事講習を受講しました。生涯学習課(当時)に異動してきた年でした。 生涯学習がなんなのかもわからないまま宇都宮大学まで3週間、必死に通いました。

あれから3年がたち、今年度、社会教育主事の辞令をいただいてしまいました。今も毎日必死です。 無力ながらも周囲に支えられながら、何とか務めています。

講習時に聞いた、「人とのつながりは積極的に努力しなければ、持つことも保つことも難しい。」という言葉が、今も心に残っています。この課に異動してきて、とても多くの人と出会うことができました。また、人とのつながりの大切さも学ぶことができました。これからも、出会いを大切に、たくさんの人とつながっていきたいと思います。



学校をおうえんしたーい 12

「岩舟地区にこの人あり!」

栃木市立岩舟中学校 教諭 間中 美智子



【あたたかい眼差しで生徒を見つめる高久さん(中央女性)】

『先生方に子どもたちと向き合う時間を増やしてほしいから、できることはなんでもしたいんです!』この言葉は、本校のボランティアさんとして長年にわたり活動している高久厚子さんのことばです。高久さんは静和小学校の地域コーディネーターも務めるボランティア歴15年のベテランさんで、学校を全面的に応援してくださる一人です。

PTAの本部役員をしたことが現在に至るきっかけになったと話してくださった高久さん。それまでは学校は遠い存在のものと感じていたそうですが、保護者や地域の住民が関わることで、子どもたちにも良い影響を与えられるのだ!と目から鱗の経験をされたそうです。そんな高久さんは、学校側もボランティアも、できることとできないことを明確にしていくことが長く続く秘訣だと話してくださいました。「何か依頼があれば、すぐに人の顔が浮かんでくる」のだそうです。周りの人に恵まれているので…と謙遜されていますが、高久さんの人柄が人を集め、良い活動につながっているのだと痛感しています。今後とも長いおつきあいをお願いしたいと思っています。

第 1 回研修会報告

11月10日(金)、栃木市ニューアプロニーにおきまして、平成29年度下都賀地区生涯学習研究会第1回研修会を開催しました。県生涯学習課の井上昌幸課長補佐に「ふれあい学習推進における社会教育主事有資格者の役割〜学校と地域の連携の視点から〜」の演題で講話いただいたあと、「地域とともにある学校づくりに向けて」というテーマでグループ演習を行いました。各グループで地域資源(ヒト・モノ・コト)を洗い出し、地域のよさについて確認し合ったあと、学校と地域が連携・協働してよりよい地域をつくるために、学校はどのようなこ

とで地域にかかわることができるかシミュレーションしました。講話と演習を通して、学校と地域、双方向の連携の大切さを改めて確認することができました。



【第 1 回研修会の様子】

生涯学習研究会第2回研修会 (下都賀地区ふれあい学習ネットワーク)

(下都賀地区ふれあい学習ネットワーク) (下都賀地区地域連携教員研修)



- ◆日時 平成30年2月2日(金) 13:30~16:15
- ◆会場 栃木市藤岡文化会館·藤岡公民館
- ◆内容

〈事例発表〉

- ・壬生町子育て支援グループ「ポケット」の取組について
 - 壬生町子育て支援グループ「ポケット」 代表 岡本 恵 月
- ・野木町公民館友沼学区分館の取組について
 - 野木町公民館友沼学区分館長 秋元 吉行 氏
- ・県立栃木特別支援学校における地域連携活動の取組について
 - 県立栃木特別支援学校 地域連携教員 早乙女 陽一 氏

〈交流会〉

- ・地域連携教員と地域で活躍している団体等との交流
- ◆申込 所属長あて「ふれあい学習ネットワーク開催通知」よりお申込ください。

編集後記

地域の図書館と連携し、保護者ボランティアが、本を選び、学級文庫として教室に配置し始めた。最初は何を選んで良いか迷ったようだが、児童に喜ばれる本や必要な本を捜したりする中で、本への親しみがわき、家庭でも本の話題が出るなどという話を聞いた。地域連携により、読書活動が推進されるよう、コーディネートしていきたい。(J)

*゙*ネ゙ットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク